龍丘公民館報

発行人 木下 右治
編集人 編集部
印刷所 信州印刷KK

本館事業部組織決る

新進氣鋭の顔ぶれ

昨年から十二月切替えとなつた本館では事業部の人事組織を急いでいたが此の程次の如く決定された。尚正副館長は留任、教養部を木下館長が兼任する事となつた。

教養部長　木下右治
〃副部長　下平恵敏　代田きそ
部員　伊坪恒雄　吉沢肅　今村あい　塩沢志満　加藤新八郎　高島博　関島広三　林恒子　中村美作　下井田恒茂　伊藤菊江　今村東一郎　牧内正七　塚平代三　塩沢正人

社会部長　岡村美文
〃副部長　伊原節子
部員　下平正賢　中島ひろ　今村さき　今村好子　伊原元　中島哲　下平逸　下平明　小笠原庄七　小林正男　林彦志　伊原弘　小木曽包房　増田鈔　塚平頼次

産業部長　今村長穂
〃副部長　牧島　豊
部員　小島利昭　塩沢美苗　金子正子　金子志げ子　小林三郎　岡村市郎　吉川恒夫　中平博　下平一司　佐々木誠一　原耕三　牧野稲雄　木下正二　金子友一　橋爪隆志　五味正憲　池田清　生島彦雄　吉沢清之

体育部長　原康次
体育副部長　吉川正巳　宮沢重男
部員　塩沢以鈴　木下きよ　下平ふみ　鈴木さだ子　下田馨　松永哲夫　吉川忠則　松永敬一　岡村義美　小林正徳　牧内喜好　中島ふみゑ　片桐寿　牧内一雄　小林元　牧内清志　中島兼義　松尾豊　林文雄　河井辰雄　下平悦子

視聴覚部長　今村　清
〃副部長　田中国雄
部員　下平いねよ　下平つね　吉川とみゑ　沢柳正男　小林郁夫　北沢弘尾　下井田勲雄　岡島文男　中島寿文　加藤新八郎　下平芳雄　笹岡喜美　杉本金吾　沖田一雄　奥村正博　伊藤陽治　上松基祐　山口稚三　伊原万介　吉川泰弘

編集部長　中田美稔
〃副部長　塚平清俊
部員　下平明朗　中島きよ子　原寛　小林さと　下平康二　代田勇　今村清　小林誠　橋爪行雄　岡島照枝　河井辰雄　五味正憲　塩沢正人　関川作楽

図書部長　高島英治
図書副部長　下平富嗣　中島きよ子
部員　中平明人　下平正明　牧島敏子　熊谷京子　今村明人　伊藤操　田中金司　鈴木英美子　増田義和　木下文子　小笠原昭市　原房子　林幸技

論説

農民会と農協への関心

最近農業団体再編成法案に反対運動の署名が本村に於ても行われた。

おそらく同法案に対する理解、或いは反対運動の意義等各人納得された上での事と思うが、全般的には今回の再編成に対する関心は薄く、むしろ農協指導者側の熱心な運動に引きずられてるかの感が深い。

元来農業政策が純粋に農民の利益の為めに又、発展策として講ぜられなかつた経験から、と角農民は政治に対し無関心であり、政府の行おうとする事に一顧もしない傾向が在りはしないだろうか。

今回の「農民会」なる新団体に対する当局の構想にも一理はあろうが、我々にとつてはやがて農民圧制への機構と化したり、或いは政党の利益のために利用されたりする事を恐れないわけにはいかない。我々が無関心たり得ない理由がそこに在る。

又一方農協に対する関心も忽にしてはならないときである。

即ち農民会反対の署名をしたからといつて全面的に農協運営の現状を肯定するものではない。

およそ現在の農村社会に於て完全な組合活動が難なく遂行出来るとは考えないが、その目的と理想を再認識し、それに添うべく努力される事が必要ではないだろうか

つまりかつての産業組合指導者諸氏は社会改造まで行おうと努力されたと聞き伝えている。実はそうする事に依つてのみ組合活動の全きが期せられるわけである。

今後ますく激化する資本主義攻勢に、小農経営がより良く対応し共存の実をあげるには生産の協同化が実現されない限り、農民はい然として犠牲者的位置から脱出し得ない。

農協本来の使命がそこにあるわけであるが、現在の農村経済の構造が私的営利を前提とし、しかも我々はいつも金欠病者である以上協同組合運営は想像以上の困難さがあると思う。

今回の再編成案をめぐつて、農協の貧弱さとその反面存在意義が理解されたのは皮肉であつたが、此の機を利用し最善の方策が研究されるには得難い収穫だつたと思う。関係者、組合員の理解と努力が望まれるゆえんである。

本村養蚕者大会

決議に対し

天龍社で回答よせる

▽昨年十月二十一日に開催された本村養蚕者大会に於て決議された、①天龍社時又工場は△
▽繰糸工場として存続することを強く要望する。②技術員経費は単協に移管すること。③△
▽蚕品種の決定については養蚕家、関係技術員、蚕種製造家、天龍社の四者合議研究の上△
▽万全を期すること。以上三項目の要望書を天龍社会長宛に送つたところ、最近次の如く△
▽その回答を大会委員長宛によせて来た。△

お答え

❶天龍社時又工場は繰糸工場として存続することを強く要望する

（時又工場の処置問題は本会として非常に心配をしている問題で、さきに処理委員会を構成し与論の上にも立ち同時に蚕糸業界の客観的情勢等を考慮に入れ慎重に検討を進めています。）

❷技術員経費は単協に移管すること。

（本件は本会の機構と組織単協運営との関連上極めて重要案件で、一朝に結論をつけることはむずかしいので、それぐの関係面から慎重に検討を加えて善処し新年度の事業計画をたてたい考えであります。）

○本郡の蚕糸機構が過去の歴史の上から他郡と組みたてが異なり、農協六連の中の養連郡支部と連合会が一体化しており、従つて蚕業技術員の身分も県養連につながつており、国並に県の助成は県養連を通じて交付され郡運の形において原料部と一本化し賦課制度において予算措置をなし、養連と構成上のつながりをもちつゝ、指導事業を連合会企業の上にたつて計画している現状であること。

○農協の連合会である関係から農協の全体運営と運動の上からにらみ合せて更に一段の検討を要すること。

❸蚕品種の決定については、養蚕家、関係技術員、蚕種製造家、天龍社の四者合議研究の上万全を期すること。

（連合会の性格が、どこまでも農民の自主的な結集体で、その上に自らの製糸加工利用企業と指導がうちたてられているわけで、従つて蚕種蚕品種は原料繭の規格改善上に、又養蚕経営の上に極めて大切な要素である関係から、どこまでも強健であることを第一要諦として、あらゆる試験のデーターを参考として衆智を集め合議決定をしています。が一歩を誤らんか、蚕種混乱に陥入り、引いては繭処理に、そして企業にまた農協の運営に及ぼすことがらが重大と考えられますので、それぐの機関にはかり検討審議を加えて合理性を高めるべく努力しています。

この問題につき本村養蚕者代表下平逸氏は次のように語つている。

下平逸氏談

御承知の通り昨年九月養蚕者大会が開かれ、要求事項を天龍社に手交されて以来相当の日を経て決議実行委員と当局との会合を持つ事が出来た。委員会は天龍社に対し、誠意の所在と実行の状況を究明いたしましたが、考慮中とか研究中、善処すると云つた程度で具体的に実行されなかつたので、委員会では特別委員を挙げて活動を続行中であります。

本村でも郡大会に呼応して村大会を開き、三項目の要求書を手交しましたが、この回答は極めて抽象的であり形式的である。

今後経済界の波の中で技術と運営とをうまくマッチさせ、天龍社発展のため、共々に努力をしてゆきたいと思います。

本館の事業決る

～各部とも内容の充実を計る

本年度の本館の組織が成り、フリで事業計画が決定された。村的にも多難を予想される年でもあり、公民館の在り方についており〳〵研究された結果の各部事業計画である。特に内容の充実化をねらい、確実な成果をはたすべく各部とも張り切つている。

公民館事業計画

教養部
○青年学級・婦人学級の振興
○講演会開催

社会部
○行事の内容工夫　成年式　敬老会
○村政と村民の連絡
　町村合併と中学整備
　農飯国道の開通地
○新生活建設運動
○講演講習会

産業部
○講演会（二月）
　果樹に就て　桃沢匡雄氏
　養蚕に就て　未定
○座談会（三月）
　三十年度米作競進会入賞者を中心として。
○視察（四月）
　郡下に於ける果樹栽培の先進地視察
○第三回米作共進会開催
○第二回産業振興研究発表会
○農芸品評会（未定）

体育部
○陸上競技
　天龍峡駅伝競走（四月）
　分館対抗陸上競技会（新しい本年度の行事、五月）
　全村運動会（十月第二日曜）
　中部支会陸上競技会
　郡陸上競技会（その際の情況により、参加可否をきめる。）
○野球
　常会対抗野球（五月より開始し決勝は八月十五日）
　中部支会野球会
○排球
　中部支会排球
○卓球
　分館対抗卓球会
　中部支会卓球大会

親聴覚部
○公民館巡回映画
○スライドの作製
　各分館にてつくり、コンクールを行う。
○レコードコンサート
　来年度の新しい試である。

編集部
○本年発行回数　八回

図書部
○貸出し、製本、新刊書購入
（詳細は三月発行の図書館報に発表）

異例の合同部員会開かる

映画を観賞食事を共に

公民館は昨冬十二月切り替えをし、一月になつて分館も本館もその組織が完了したので、一月二十九日に総部員会を学校記念館に於て開催した。

午後一時から開会し、午後五時半に閉会にしたが、まづ木下館長から公民館の動向に就ての話があり、次に各事業部長が本年の事業計画につき発表し、次に映画（ひとりの母の記録）を観賞し、夕食を共にして和気あいあいのうちに解散した。

六十数名参集し、今迄にない総部員会であつて、本年度の公民館活動の活溌なことが予想されるものであつた。

松原薫人氏に

感謝状贈呈

松原薫人氏は本村の公民館創設の昭和二十三年度から八ケ年の長年月に亘つて、芸能部長視聴覚部をつとめられたが、この度退職された。

氏は家庭的に多くの犠牲をはらつて社会教育のために盡粋されたのであつて、実に奇特の至りである。よつて公民館は氏に感謝状と記念品を贈呈して感謝の意をあらわした。

寄贈図書

戦後十年	寄贈者	林定三氏
秋茄抄	〃	茂木住平氏
東京の信州人	〃	鈴木新聞店

「秋茄抄」は茂木先生の御令室秋恵さんの遺稿集である。その作品は俳句と短歌であるが、実にすばらしい作品である。茂木校長が編集したのであるが、その編集の仕方と説明文と、子供さん達が母を偲ぶ詩や作文が、又実に立派なものである。是非一読されんことをおすすめする。

戸籍の窓

【十二月分】

（出生）

子の氏名	性別	父の名	部落名
鈴木美代子	女	誠一	駄科
松永ますみ	〃	敬一	〃
佐々木良子	〃	元	長野原
下平政江	〃	文平	時又
吉川茂	男	恵吾	〃
安東清行	〃	欣二	〃
原優美子	女	平吉	桐林
中島素	男	哲	〃
前島健治	〃	龍丙	〃
林佐希子	女	三郎	桐林
中島信子	〃	昭	〃
吉倉浩	男	暉生	時又

（死亡）

氏名	性別	年令（満）	部落名
藤田とくへ	女	七八才	駄科
岡島美ねよ	〃	七六〃	時又
原安弥	男	九一〃	桐林
前島健治	〃	〇〃	〃

（婚姻）

（下平唯男 時又 / 塩沢明子（時又）下平へ）
（下井田チカヱ 長野原 / 小田博夫 門司市へ）
（吉沢道夫 時又 / 田中陽子 喬木村より）
（久保田利夫 駄科 / 小板あさゑ 岐阜県より）
（牧内哲 上川路 / 今村栄子 川路村より）
（塩沢利郎 長野原 / 橋爪まさ子 下久堅村より）
（上松健介 時又 / 西尾孝 鼎町より）
（代田喜美 駄科 / 福田善治 座光寺村へ）
（下平一郎 桐林 / 木下美代子 上川路より）
（関島文男 駄科 / 林美春 山本村より）
（下平玲子 駄科 / 木下健次 飯田市へ）

豆ニュース

恒例の消防出初式

【写真は放水訓練】

一月六日午後一時より本村消防団の出初式が校庭に於て盛大に挙行された。

成年式行わる

【写真は成年式】

一月十五日本館社会部主催の成年式が記念館にて開催された。該当者一二三名が、先輩各位よりの祝激励の言葉を受け、尚お招待講師倉田俊氏の「世界からみた日本」と題する講演を聞き、和やかに会食を済ませ、青年会の演劇を観賞して解散した。

未亡人会の美挙

昨年十二月文化祭の際、未亡人会は廊下の片隅で売店を設け、パンや菓子を売つた。売上高が若干あつたので、その利潤で下駄を買い年末にお気の毒な環境の人々に差しあげたとのこと。

久保尻婦人会の花

昨年暮れに桐林久保尻婦人会では一戸で数枚宛餅を持ち寄り同部落で正月をひかえて生活に困つている家庭に送りよろこばれたとのこと。

貴女の健康を守りましょう

家族計画と云うと人工姙娠中絶をすることと早合点して、何回も中絶している人がありますが、目的はそれで達せられるかもしれないがその度に貴女の健康が傷付けられるのです。

もうすこし真剣になつて身体をいためないような方法を考えましよう。それで国保では予算を計上して薬品や器具を厳選し高級品を市価の半額でお分け出来るようにしているので近所の助産婦さんか役場の健康相談室へ御相談下さい。

（役場　社会課）

畦畔拾話

国民生活の貧困は「この狭い国に八千九百万人〝も〟の人間が住んでいるからだ」とよくきく。しかしこの考え方には大きな誤りがあろう。

○

それは又一種のあきらめの主義的な考えから生れる[illegible]うに解し[illegible]

○

要はこの狭い国の人口や諸資源の乏しさを嘆くよりは、乏しい条件と国民の特殊性を、如何に生かすかと云うことであろう。

○

農村の二三男の問題は日に日に深刻になり、村を飛び出す者が多くなつて居る。農繁期の一時の手伝いの外は、食つて行けないと云うのだろう。

友はみな都に去れり一人
雪降る山に[illegible]

農村に居残つた青年の寸時の気[illegible]してはあるまい。

○

過日、山吹村で撮影した記録映画「一人の母の記録」を本村でも上映し多くの人達が鑑賞した。我々の生活に共鳴した実に考えさせられるものであつた。

○

場面々々にはそれぐ異論はあろうが、農民の浮ばれないのは、何所に原因があるか？我々をとりまく社会に誤つた事はないだろうか？……各自の反省と真剣にこの問題を解決することこそ、農村の共通した大きな課題であることを映画を通じて認識を深めるべきであろう。

農家青年の実態調査

四十％が二・三男

◇昨年十一月に役場の経済課では、農家の二、三男就業実態を調◇
◇査したところ、四十％の一一九人が二三男であり、俸給生活者◇
◇が大部分の三十六％となつている。詳細は次ぎの通りである。◇

① 在村農家青年男子総数と二、三男の割合

（調査対象農家戸数五八〇戸）

種別	員数	割合
A　一六才―二八才　在村男子総数	二九三人	一〇〇％
B　右の内農家を相続するもの	一七四人	六〇％
C　AからBを引いた数（二、三男）	一一九人	四〇％

②、二、三男の就業実態と潜在失業者考察

就業種別	員数	割合	潜在失業者数
自家手伝	二八人	二四％	九人
農業外日雇	一〇	八	一〇
在学者	三七	三一	
俸給生活者	四三	三六	
その他（不具廃失者）	一	一	
計	一一九	一〇〇	一九

③結論

本村農家青年男子総数二九三人の六％一九人は潜在失業者である。

即ち一〇人の内〇、六人は潜在失業者である。

但しそのうち極く少数の者が養子となり分家者となるであろう。

随想リレー

中学校整備に想う

下平国子

次回のバトンを林千代さんに渡す

こゝ二三年、PTAの方へお世話様になつおつた関係上、ちよいちよい中学校整備のお話をおうかがいいたしておりました、その度に胸おどる思いで来るべきよい校舎を夢み、そこへ通う子供の姿を思い浮べて楽しんで居りました。

たま〳〵町村合併問題が起りそれとにらみ合せてと云う線が出てか、なか〳〵うれしいお話がきかれないのでたまらなくなりました先日の夜もそんな事を考えたら一時を打つのにねつかれず、早くよき線がほしいと床の中で祈りました。この子供が中学を卒業する頃には、新らしいよい校舎にと子も親もあこがれと楽しみをもつて待つて居りました。その子も今年は卒業です。せめて今小学校三年の末の子だけでもと思うとじつとして居られない心持になります。

村政経済のことは私にはわかりませんが、子供を持つ母の願いとして、何としても一日も早く実現される様当事者の皆様にお願いいたしたく思います。今こそ村民を挙げてこの問題を考えてみる時ではないかと思います。高陵中学を見学させていただいた私は、その施設と云い、設備と云いとうていくらべものにならない私達の学校を余りにも悲しく思いました。同じ学令の子供であるのになあゝ、と思うにつけ一日も早く、かゝるよき学校をとねがわずにはおられません。

去年の暮、松尾村の皆様が多勢この学校迄わざ〳〵おいで下さつて、この問題について呼びかけて下さつたこと、そのお話内容もうかゞいました。色々な問題を含んだ大問題であるだけに深い考慮を要することは申すまでもないことでありますが、立ちおくれのない様みんなで考えてまいりたいと思いました。

PTAと云い、婦人会と云い、名こそちがえ共通したものである筈です。お互に子の母として村の婦人としてこの問題を考えてまいりたいと思います。正しい批判と考慮はきつとよい世論となり、よい結果を生み出してくれることと信じます。末つ子を見る度にこんな思いが胸にさわぎ、やがては実現されるであろうよき校舎をすこしも早かれとねがつてやみませんこれは子をもつ親の同一のねがいではないでしようか。

御芳志

村外居住の方で左記の方々が館報代として御送金下さいました。御芳名を列記してお礼にかえる次第で御座います。

飯田市松尾町　木下陽康
東亜紡織泊工場　熊谷誠子外
倉敷毛織津工場　橋爪常子外
大分県杵築天堤　沖田本男

部長放言

ひとりの母の記録について

社会部長　岡村美文

「いゝ映画だつたなあ、ほんとに全国津々浦々の人々にみてもらいたいなあ。」

「自分がその中に投げこまれていると、ちよつともわからんが、あゝゆうふうに映し出してくれると百姓のほんとの姿がわかつて反省させられるなあ。」

「おらあ、あれ以上の事を平気でやつておつたんだが今日はほんとうに自分があわれになつたよ。おれのおかあが気の毒になつた。」

これは、先日の公民館部員総会の折上映せられた「ひとりの母の記録」を、小学校の裁縫室で鑑賞して三々五々記念館へもどる途中の前を行く二人の会話のぬすみ聞きである。

おかしなもので、自分の生活は自分が一番わかりそうでいて事実は反対の場合が多い。この日「ひとりの母の記録」を見た人々の感激は大きかつた。不幸にして、批評会は時間の関係でなかつたが、廊下で、或は散会後のストーブのまわりで思い思いに語られた幾人かの人の言葉は之を立証している。

都会人の画いた農村は、何か間の抜けた処があるものだがこの映画にはそれが無い。無いどころか真実を良くえがき出している。言うまでもなく製作者は農村の実状養蚕の歴史、現在の実態、農協中央会で云々した廻転換のことも、丹念に研究調査した上での作品である。製作者が、この映画のために、龍丘へ来て座談会をした時の真剣な態度が、実に印象的であつた。

この映画が誇張されていると言う人は、映画の劇的表現についての理解に欠ける人である。細かな点では俳優にあらざる俳優「母」のあの固い表情は、まことにこの映画にふさわしく、問題になつた。落ちた繭を「母」が拾う前後の場面の表現する深い暗示もさすが非凡な製作者なればこそと感心させられる。

オートメーションの時代にふさわしくない貧乏と重労働をにない続ける農村の実態を画き、それへの反省の動機をあたえる秀れた映画である。この映画に真つ先に共鳴の手をさしのべて農民と共に、この苦しみを共に苦しみ、共にこの苦しみを救うところの良心を持つべきものは常に農民の味方であると叫ぶ我等農業協同組合でなくてはならない筈である。

新役員決る

◇婦人会

会長　代田きそ
副会長　伊原節子
会計　菊江伊藤
記録　小林こと
支会正副会長
駄科　木下きよ㊣
　下平ふみ
　鈴木さだ子
長原　今村あい㊣
　塩沢志満
時又　今村ふき㊣
　今村好子
　伊原元
桐林　下平いねよ㊣
　下平つね
　吉川とみえ
上路　金子正子㊣
　金子志げ子

◇壮年団

団長　中島章
副団長　牧島甲一
各支会長
駄科　牧島甲一
長原　小林三郎
時又　加藤新八郎
桐林　中島章
教養部　加藤新八郎
　高島博
社会部　岡村美文
　中島哲
産業部　小林三郎
　岡村市郎
体育部　下田馨
　松永哲夫
視聴覚部　沢柳正男
　小林郁夫

東村の原功君晴れの入賞

四HC中峡地区大会にて

去る、一月二十三日中峡地区、農村青少年実績発表大会が、飯町市農協に於て開催され、十三チームによつて終始優秀な研究発表が展開された。当村からの出場者は、桐林クラブから原功君「桑園間作と酪農」下平勢津子さんの「年間野菜の利用」林幸枝、原房子さんの「野菜サラダの作り方」鈴岡クラブから、牧島亮夫君の「我が家の有畜経営」等四チームが出場し、原君が堂々入賞の栄冠をかちとり二月七日の郡大会に出場する事になつた。

四Hクラブの新人事

四HCの主体をなすプロジェクト活動の強化推進のため、三月切替えから十二月切替えになり、二十二日新年度役員が決定した。

協議会長　中平明人　副会長　牧島亮夫、久保田節子尚、各クラブの責任者は、桐林　小笠原昭市、鈴岡　塩沢忠志、上川路　金子徳一君とそれ〴〵決定した。

新生活運動に寄せて

時又婦人会文集「草の実」より抜萃

下部から盛り上げよう

一婦人

「新体制」から「生活改善」へ、それから次に叫ばれてきましたのが今度の「新生活建設運動」です。運動の根本はいずれも同じですのに、ことばだけは改められて来ました。私共もそうでしたが、一般に初めのうちだけは、一生懸命に考えてはみても、時がたつにつれ関心がうすらいでしまう。今度こそこの新生活運動も、その叫びだけに終らないように伸展させたいと思います。これは上の役員の人達により進められるものではなく、下から盛り上げる力で活溌化して行かねばならないと思います

ここでちよつと考えただけでも改めなくてはならないこと。廃止しなくてはならないことなど沢山あります。一口に非難されている井戸端会議でも、人のうわさ話だけに終らないで、その話題を生活向上のためのものに切り替えて行く。例えば、ただ今魚屋さんにサンマが多く出れば、各自これをおいしく食べられる調理法を教えあつてみるならば、井戸端会議はとても有効なものになります。

また何をするにも、時間の励行の問題はついてまわります。これこそ一人一人が実行していけば、新生活運動も小さいことながら始まつて行くのであります。

また病気見舞の返礼など廃止したいことは、まだまだいろいろありますが、これらも実行しなくては、いくら呼びかけても、むだに終つてしまうから、ぜひきめたことは実行にうつして行きたいと思います。

お返し廃止に賛成

一婦人

先日見た龍丘館報に、上川路の病気見舞のおかえし廃止ということがありましたが、私はその記事を読んで、大変よいことを定められたと思いました。

時又でもお床上げのお返しはやらないことにきまつていたように前には聞いておりましたが、まだまだ違反者が沢山あるようです。それどころか、人によつては「お床上げはまだしないの……」と催促がましいことを言う人もあるそうです。

病気して沢山なお金を使つた上やつと全快したところで、今度はお床上げのお返しなどに心配したりお金を使つたりすることは、ほんとうに大変なことと思います。

私などは、外地から引揚げて来て以来、皆様に大変お世話になつておりますが、一度もお床上げのお返しなどしたことがありませんしたくても出来ないのです。

それだからというのではありませんが、上川路だけでなく、龍丘中が一致してお床上げのお返し廃止は大賛成です。是非村中がそうなるよう祈ります。

国土調査最後の仕上げに入る

昭和二十七年以来国土調査の測量を続けて来たが、愈々完成に近ずき上川路地区が去る一月三十日、地籍図の閲覧を終え、県の認証を受ける事となつた。

学級活動活潑化す

青年会、婦人会とも組織が改まり事業面に於ても一段と生彩を加えて来、特に学級活動が盛んとなつてきた事は注目される。

一月二十四日には「一人の母の記録」の映画を鑑賞、青年婦人合同で木下館長を中心に熱心な批評会がもたれた。

一月二十九日には青年学級が開かれ、中学校整備、町村合併の問題について村当局より実情を聞き、活溌な質疑応答が重ねられた。

生活雑記

食品の物価について

この二年ばかり物価の差と云うことを調べて来ましたが、仲々に面白い変化があります。又それが業者にプラスになる場合には早く実行にうつされますが、マイナスになる場合には種々の理由を云つて物価をさげません。

たとえば去年の秋から大豆が一俵あたり千円の値下りを見せて居りますが、一丁あたりの豆腐の売価は相変らず十五円であります。二月二日付の新聞に上伊那郡の主婦の力でこの豆腐の値下問題が取上げられて、二月一日現在一円から三円安の価格で売られるようになつたと書いてありました。

又去年東京の主婦の力により牛乳が一本十円になり、誠に一家の家計をあずかる主婦の身に取つてうれしいニュースでありました。

又本村におきましては、お菓子にしても飯田にくらべると十円から十五円の価高になつて居り、又砂糖にしても現在白砂糖が五十円飯田では四十六円でありますからそれを較べてみますと、一軒あたり五百匁づゝ使うとするとなか〳〵大きな数字があらわれて来ます。一人の力でいくら申してもなかなか理くつを申して安くなりません家計をあずかる主婦にとりましては仲々に重大問題であります。

新生活運動は大先生方の御話をきく事のみでなくて、此のような日常生活の小さい問題に力を入れ大勢の力で一つ〳〵の事にあたつてほしいと思います。又聞く所によりますれば、本村の物価が少々高いと云う事を商工会長さんは御存知とか申して居りまして、各商店におきましてはいづこの家にも資本金がしつかりあり品物がさばけなくても生活が安定して居るので、飯田方面にお客が逃げてもたいした事はないのでしようか。本村を栄えある村にしたいとのぞむなれば、一人でも飯田方面に行かないようサービスをしていたゞきたいと願う者であります。

（時又　E子）

告知板

村史資料蒐集に就て

㈠「あだか」の古文書目録刊行

村史資料蒐集委員の手によつて古文書の調査が進められているがその第一歩として駄科「あだか」に所蔵されている古文書の目録が過日出来上つたので、それを刊行する事にした。「あだか」の古文書は数千点に及び、たいした資料である。

この目録を希望者には実費五十円で領布する予定であるから、希望者は左記蒐集委員に申し込まれたい（二月十五日までに）

㈡村史編集資料蒐集委員

駄科　北沢小太郎　下平喜三
　下平不二夫　木下幹夫
　矢沢一郎　下平清
　関島林郎
長野原　小林武男　小林正徳
　斉藤喜八　小林八十吉
時又　伊藤祐一　下平三七
　伊藤祐哉　今平篤七
　今村尚司　田中国男
　岩堀俊道　伊原三千治
桐林　中島清志　下平芳太郎
　下平斉　林保樹
　前島継男　岡村哲
　岡村美文　林一郎
　中田美稔　原太二
上川路　橋本玄進　清水眞吾
　清水唯一　増田春一郎
　久保田吉郎　増田春吉
　金子友一
学校　塩沢正人　川井宗孝
　斉藤章

現在の蒐集委員は概して老年者が多いので、青壮年層の委員が必要である。蒐集委員になつて勉強してみたいという方は、初心者でよいから申し込んでもらいたい（公民館木下）

㈢各家庭に所蔵されている古文書を見せて頂きたい。

村史編集の第一の仕事はまづ村内の各家庭に所蔵されている古文書を全部見せて頂き、その目録をつくることから始まる。

皆さんの家に古文書が一枚でも二枚でもあつたら、どんなものでもよいから、委員に見せて頂きたい。

編輯後記

編集部も昨年は手不足に悩まされたが今年は増員して万全の態勢を整えた。

お互いに勉強し、努力して皆様の御期待に添いたいと考えて居ります。特に御意見などおありでしたら今後のためお聞かせ下さる様お願いします。

今月号は、村内各種団体の組織替えでありましたので、紙面も新役員の紹介記事が多くなりました

来月号は三月上旬の発行を予定して居ります。原稿の〆切りは二月二十日を予定しています。各方面からの御投稿をお待ちしております。